1　教育目標

努 力　責 任　健 康

2　学校教育の努力点と推進計画

⑴　努力点主題

「仲間とともに、主体的に歩む」

～　自己選択、自己決定、自律する生徒・寄り添う職員集団　～

⑵　主題設定の理由

本校は「ナゴヤ学びのコンパス」を受け、「自己選択、自己決定、自律する生徒」の育成を目指して様々な学校改革を行ってきた。令和６年度は学習・生活・特活の三分野において対話的な学びの機会の増加・充実、生徒が主体的に行う学校行事への転換などを行った。そして令和７年度は、本城祭や体育祭といった学校行事を中心として、より生徒の主体的な姿を引き出す取組を行った。

生徒の振り返りアンケートを分析すると、生徒自身の実感としても「主体的に取り組んだ」という回答が上昇傾向にあるが、その一方で「学級で協力して取り組む機会が減って寂しい」と答えたり、行事に対しての姿勢について、学年間で温度差を感じたりする様子も見られている。改めて主題である「仲間とともに、主体的に歩む」生徒を目指し、同学年間の横のつながり、異学年間の縦のつながりを意識したいと考えた。

⑶　本年度の取組

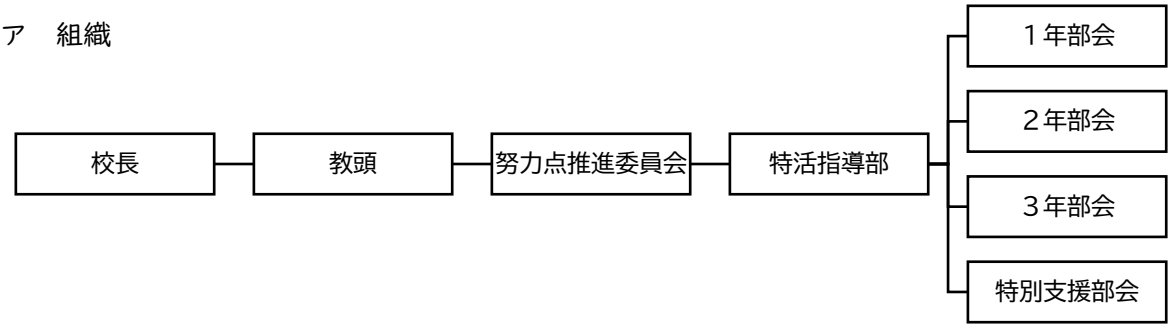
「本城祭」「体育祭」という二つの学校行事について、以下の二つを最上位の目標とし、全教職員で生徒と対話しながら、取組に伴走する意識をもって指導にあたる。

本城祭	自分の好き、得意、やりたいことを追求しよう、認め合おう
体育祭	運動が得意な人も、苦手な人も楽しめる体育的行事

また、それぞれの行事において学年や学級といった同年代の横のつながりを深められるようなものを取り入れる。そして、それぞれの行事後には個人アンケートによる振り返りだけでなく、それぞれの実行委員や活動グループにて、学年の垣根を越えて次年度に向けてどうしていきたいかを話し合う場面を設ける。話し合いの中で、先輩と後輩という縦のつながりを深めることで、各行事に対する思いを引き継げるようにし、より主体的に取り組む姿を育てたい。

⑷　学校努力点の推進計画

ア　組織



イ　進め方

①　職員会議、努力点推進委員会にて、方向性や取組について提案し、進捗を確認する。

②　特活指導部を中心として取組内容の検討を行い、各学年部会で実行する。

③　必要に応じて努力点推進委員会を開き、連絡調整を図る。

ウ　検証・評価

各行事後に行うアンケートに加え、生徒同士で行事を振り返る話し合いを行う。また、１２月頃に実施予定である学校生活振り返りアンケートで「本城祭」「体育祭」のについて振り返る項目を設定する。各アンケートや取組の記録や記述内容から、努力点の取組の是非について検証・評価する。

参考資料　ナゴヤ学びのコンパス



どの学校園でも大人が大切にしたいことである「子ども一人一人の思いや願いを尊重する」「子どもと対話する」「子どもの自分なりのチャレンジを大事にする」ことを意識し、生徒と関わるようにする。